

大館圏域産業祭に参加して

平成23年10月29日(土)・30日(日)



平成23年度大館市圏域産業祭に参加して

<平成23年度産業祭>

平成23年10月29日(土)・30日(日)大館樹海ドームを会場に県の産業教育フェアの一環でもある大館圏域産業祭が行われ、本校生活科学科では、3年生が中心となり各コースの日頃の学習成果を地域の方々と交流しながら発表しました。

教育産業展のブースでは、「焼だまこ」を計1100食用し、生徒が交代で地域の方々に試食していただきました。予定していた数がすぐなくなり、時間調整をしながら提供しました。

同じブース内で、福祉コースが手作りコーナーを設け、生徒が指導者になって「紙粘土マグネット」と「英字新聞を用いたエコバッグ作り」を行いました。子供連れの家族が多く訪れ、子供が粘土細工をしている間に、大人はエコバックを作ると、滞留時間も長く、コーナーは人であふれました。

特設ステージでは、被服選択者が二日間共30分のファッションショーを行いました。今年は、初めての試みとして、春から習ってきた着付けの帯結びを冒頭に実施しました。一日目は緊張した場面も見られましたが、二日目は順調にショーを進めることができました。3年生は、ジャケット・自由作品・ドレス、2年生は浴衣にじんべいを披露しました。いずれも授業で製作した作品です。会場には多くの市民が足を運んでくれました。その時の様子がNHKのビデオ便りにも取り上げられ、12月2日のニュースこまちで放映されました。また、今回は特別出演でJ A北あきたの青年部の方々が、本校生活科学科で製作したフードレンジャーのマントを着用して出演してくださいました。



～ 生徒の感想から ～

★ ファッションショー

・教えてもらったことが自分ができるようになり、それを見てもらうことで拍手をいただけたのは、とても嬉しいことでした。これからもいろいろな作品を作っていきたいと思いました。協力してくださったJAの方々や先生方にも感謝します。

・それぞれの頑張りでこのように発表でき、忘れられないものとなりました。

・たくさんの人たちが協力してショーを成功させることができました。

・見に来ていた親に、ほめてもらいました。





焼きだまこ

- ・お年寄りから幼児まで幅広い年齢層の人がいて、楽しいと感じました。
- ・たくさんの人と話をすることは、大切なことだと思いました。最後まで頑張れてよかったと思います。
- ・自分たちの他にも、宣伝担当や裏で保温してくれた人、洗い物の人等みんな協力したからこそ、成功できた産業祭だと感じました。
- ・いろいろ時間がかかりましたが、その分達成感を味わうことができ、いい経験になりました